

調査・研究委員会

画像医療システムの市場動向等、基礎データの収集を継続実施し、事業環境、事業形態の変化に合わせてそれを改善していく。

ニューノーマルの時代に適応した対応として、Web を活用した入力・集計システム(JIRA-Stat)を用いた JIRA 市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動を継続すると共に、「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査(以下、導入実態調査と記す)」にも Web による調査形態に変化を加え継続し、第 19 回目として実施する。

1. JIRA 市場統計

(1) 安定した運用

JIRA 市場統計の精度確保と関係部会、委員会とともに JIRA 会員に公開し、継続した価値提供を実施する。
(関連機器の精度向上のため、20 年度には関連産業振興委員会より本委員会に 2 名加入)

(2) 市場の変化に合わせた調査品目の改良

継続性を確保しつつ、必要に応じて調査品目の分類等の再検討を関係部会、委員会とともに実施する。
さらに、社会の変化や販売方法の多様化に合わせた JIRA 市場統計の改良等の検討を実施する。

(3) 統計入力者等向け説明会の開催

JIRA 市場統計の継続した精度確保のために、統計入力者等向けの説明会の開催等を検討する。
ニューノーマルの時代、地方からの参加も容易なように Web による説明会を導入
(20 年度から Web を活用した説明会を実施、21 年度は更に価値向上の改善を目指す)

2. 導入実態調査

(1) 継続性

診療報酬改定や安全性確保などの JIRA 内外の基礎データとするための導入実態調査を継続して実施する。
Web による調査(アンケート)、説明会の実施を検討する。

(2) 調査項目

調査項目は、導入状況、保守・安全確保状況、安全管理体制の調査を柱とする。

(3) 調査報告書の公開

調査報告書は、関係の省庁、学会、団体に配布すると共に、そのポイントは JIRA ホームページを通じて広く公開し、経済部会、広報委員会などと連携の上で広報し、健全な産業の発展のための諸活動の基礎データとする。
JIRA 会員企業にさらに有用な方法で報告を実施する。

3. その他

国内外の動向を注視し、本会活動に有益な諸統計資料の調査研究などの活動を必要に応じて行う。